

## 令和6年度 第3回市政懇談会（長野・荒木地区） 当日のご意見等と回答の要旨

No.	意見・要望等の要旨	所管課 (回答者)	回答の要旨
1	<p>【学校教育について】</p> <p>消滅可能性都市のご説明の中で、他市が羨む学校教育をしていくというご発言があったと思う。具体的にはどのようなことを考えているのか。以前、行田市は少人数学級を10年以上やっていたがなかなか結果が出なかった。他市に先駆けて少人数学級をやってるのになぜ結果が出なかったのか。どういった施策を考えているのかお聞きしたい。</p>	教育指導課 教育総務課 (市長)	<p>他市が羨むような学校を作っていくということは、色々な施策の組み合わせなのかなと思っています。その中の大切な一つが少人数学級ということだと思います。学校再編にあたり、1クラスが大きくなってしまうのではないかとよく言われますが、決してそういうことではありません。少人数学級を維持しながら、クラス数を増やしていくというイメージをしております。また、質の高い教育、他市が羨むような学校教育環境となりますと、私がまず考えておりますのは、規模の問題というのがあると思います。見沼中や南河原中では、私が時々お会いすると子供達は本当に素直で一生懸命に勉強しておりますけど、それはやはり、先生方や地域の皆さんのが支えがあって何とか維持できていると思います。先行きが将来が未来が見通しにくいような不確実性の時代にあっても、しっかりとたくましく生き抜いていく、あるいは国際社会に羽ばたいていく、そんな子供たちを育成するためには、私は学校は一定規模必要だと思っております。色々な子と出会って、自分とは違う子達とコミュニケーションすることによって、まず学校で社会を学んで切磋琢磨していく。それで、良い意味での競争が生まれて、学力の向上にも繋がっていくような学校の規模が大切だと思っております。</p> <p>そしてもう一つは、教育の中身ということあります。先日、教育委員会と一緒につくば市の義務教育学校の視察に行ってきましたが、プログラミングなどに非常に力を入れていました。こういった何か行田ならではの特色のある教育をしてほしいなと私の思いとしてはあります。その一つが、英語教育ということ、それからICT教育ということです。いずれも技術でありますけれども、この技術をしっかりと当たり前のように身に付けて、学校教育の中で行田の素晴らしい歴史や伝統文化、また行田の今、そして未来をしっかりと勉強して、ITや英語などを使って世界中に発信していく、そんな子供を作っていくことではないかと思っております。</p>

No.	意見・要望等の要旨	所管課 (回答者)	回 答 の 要 旨
1		(教育委員会 参事)	<p>どう具体的に魅力的な学校にしていくのかということでございますが、今教育委員会では「骨子編」ということで、市内20校の小・中学校を3校の義務教育学校にしていくという基本的な方向性をお示しさせていただいているところでございます。教育の特色をどのようにしていくかなどにつきましては、今年度末にかけて検討していく個別計画の中で示していきたいと思っているところでございます。どういった方向性で魅力的な学校を作っていくかと申しますと、大きく分けると二つあると思っておりまして、一つはハード的施設ですとかＩＣＴなどの教育環境をいかに充実させていくのか、もう一つはソフト面で、教育の中身、例えば英語教育をどう充実させていくのか、ふるさとである行田の特色、そういうものをどう深堀して探求的に学んでいけるのか、その学ぶ方法をどういうふうにやっていくのか。またＩＣＴ環境は今後非常に重要なかと思っておりまして、環境的な面もありますし、そのＩＣＴを活用した学びのやり方も先進的な自治体では多く取り入れているところですので、そういった内容について詰めていきたいと思っております。</p>

No.	意見・要望等の要旨	所管課 (回答者)	回 答 の 要 旨
2	<p>【転入に対する施策について】</p> <p>新しい行田ということで子育て支援、教育の充実、雇用が創出され、交通インフラも整備されてくるだろうと思う。行田に住みたいと思う、転入に対するハードルを下げるような施策をお考えか。</p>	企画政策課 (市長)	<p>行田市として「新しい行田の好循環」を説明していますけれども、まずは子育て支援を充実させていく、具体的には3歳未満の保育の無償化なども始まりました。そして、教育の充実、こんな学校がある行田だったらこれからも住んでいきたいと思えるような学校を作っていくこと、それから若い人にとっては、行田に住みたいと思っても働く場所が遠い、行田に働く場所があるといいなと思う方もいると思います。雇用を生み出していく、働く場所を作っていくということ、そして、これらをやるにあたって行田の場合に難点なのが、交通の便ということだと思います。高速道路や鉄道の駅ももっと生かしていきたいと思いますが、こういったことを同時にていくことによって、この組み合わせで行田に転入しようというハードルを下げていくことだと思っております。一つだけだと弱い、でも二つ三つ揃うことによって、じゃあ行田に移り住んでこようというハードルがどんどん下がっていけばいいなと思っております。そしてまた、さらにちょっと違った視点での行田市に移り住むインセンティブのようなものもあったら良いのかなと思います。具体的にまたお知恵をいただきながら考えていきたいと思っております。あと大切なことは、こういうことをやっているということをいかにPRしていくかだと思っています。また色々なご提案をいただけたらと思いますのでよろしくお願ひいたします。</p>

No.	意見・要望等の要旨	所管課 (回答者)	回答の要旨
3	<p>【さきたまテラス・ヴェールカフェについて】</p> <p>幸手と北本が2014年には消滅可能性都市だったが、幸手市の脱却理由の一つは権現堂公園の整備という話であった。行田も歴史遺産などを抱えている町だが、例えば埼玉古墳にできた「さきたまテラス」や水城公園の「ヴェールカフェ」、私は両方とも一度行ったが、2回目はもういいかなという感じを受けた。あのカフェやテラスの魅力を考える中で、本当に予算があまりかかってない、非常に中途半端な施設だと思う。もう少し予算の使い方を考えて、魅力ある施設にできなかいか。</p>	企画政策課 都市計画課 商工観光課 (市長)	<p>幸手と北本が消滅可能性自治体から脱却できたということで、幸手の議長さんに聞いたところ権現堂公園の整備と広い子供の遊び場を作ったということでしたが、幸手はやはり圏央道インターチェンジができたことが大きいのかなと思っています。なので、私としては高速道路を持ってくる、そして、行田市内のどこかにインターチェンジをということを粘り強く国に要望していきたいと思っております。</p> <p>その一方で、やはり行田も強みというのがあるはずです。それが様々な歴史的な資源、観光資源にもなるような他市にない強みです。その大きな一つが埼玉古墳公園です。そして、去年4月にオープンした「さきたまテラス」ですが、色々皆さんからご意見いただいております。何でこんなに小さくて背中を向けているのかと、市長の私は同感ですと言つてはいけないのですが、皆さんのお気持ちはよくわかります。色々な経緯があってこのような形に落ち着いてるのですが、ただ一つ、売上げが目標額を大きく上回っており、1.5倍以上になっております。そういう意味では、非常に効率よく市外の皆様に色々なものを買っていただいて、お金を落としていただいているということは事実だと思います。</p> <p>この先、埼玉古墳公園は県のものですが、行田市に立地するもので、何とかこの魅力をもっと発信して、またさらには観光だけではなく様々な面で生かしていきたいと思っております。ただ、県との協議が必要ですので、なかなかこれが大変です。諦めずに色々とやっていきたいと思っておりますけど、正直大変です。そんなに簡単にいくものではなく、なかなかうまくいきません。でも、色々なことに生かして頑張っていきたいと思っております。</p> <p>それからヴェールカフェも、3月31日にリニューアルオープンをしました。これまでのオペレーションで、色々なご指摘もいただいておりましたが、DMOのおもてなし観光局に委託をして、メニューも少し変わりましたし、オペレーションも改善したと思っております。夜間の利用もできますので、ぜひご利用いただけたらと思います。立地環境はすごくいいと思います。ただヴェールカフェの旧忍町信用組合の建物は市の文化財になっておりますので、難点があります。それは火が使えないということです。火を使った料理ができないという難点がありながらも、市民の皆様に利用していただきたい。市外からも訪れていただきたいということで、いろいろと工夫をしておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。</p>

No.	意見・要望等の要旨	所管課 (回答者)	回 答 の 要 旨
4	<p><b>【空き家対策について】</b></p> <p>わが自治会内には空き家はまだ少ないが、後継者がきちんと更地にしているところもあれば、全くそのまま放置されているところもあり、更地にしたは良いが草が一気に伸びてくるという状況もある。これから秋になって草が枯れて、たばこでも投げられると火災になるという危険性もある。空き家問題を、全体的に定期的にフォローしていただくということを何とかできないか。今高齢者で1人住まいの方がたくさんいるので、いずれ空き家が増えてくることが予想される。維持管理を後継者が責任持ってやっていただかないと、当然地域の人が困り、窓口である自治会長に何とかしてくれと言われる。そのようなことを地域で抱えているので、ぜひ何らかの打開策を考えていただければありがたいと思う。</p>	<p>建築開発課 (都市整備部長)</p>	<p>自治会長さんがおっしゃるとおり、各方面で空き家の対応に苦労しているということを色々伺っているところでございます。市といたしましても、空き家の抜本的対策としては、やはり個人の所有物ですので個人にお願いするところになってしまいます。バックアップする対策としては、大きく3つ展開しています。1つは予防対策といたしまして、空き家になる前に適正管理を促すこと、具体的には「相続の押しかけ講座」を実施し、空き家になる前の維持管理について専門家を招いての勉強会を開催しています。2点目は、空き家を有効活用していく観点で、色々な補助制度を用意しております。補助の要件が、地域に貢献する施設、例えば福祉施設などに限定されることからあまり利用が進んでおりませんので、もう少し浸透させていくと考えているところでございます。最後に、管理不全の空き家については、解体費用を市で補助してるのでございます。</p> <p>そうした中で、自治会長さんがおっしゃったような、更地になった場所の雑草や治安などについて苦慮しているという問題があります。総合的な空き家の受付窓口は建築開発課で、空き家の草が繁茂している苦情対応は環境課です。道路に出ている枝木については道路治水課で3課にまたがっているため、一元的にもう少しタイアップした方がいいのではないかと考え、来月、3課の課長や部長が集まって、より具体的に市民の皆様に寄り添った空き家対策についてより良い方向を目指し話し合いを行います。今後とも、色々大変なことあると思いますけども、ご協力の程よろしくお願ひいたします。</p>

No.	意見・要望等の要旨	所管課 (回答者)	回 答 の 要 旨
5	<p><b>【英語教育について】</b></p> <p>教育の充実として、英語のできる行 田っ子ということで進めていくということだが、英語ができるようにはすることは 勉強うんぬんの前に、とにかく環境が必要だと思う。単純に幼稚園や小学校、中 学校だけではなく、本当に地域全体の関 係作りが大事だと思う。</p>	教育指導課 (市長)	<p>本当におっしゃるとおりなのですが、学校で英語に慣れ親しんで学んでも、使 う場所や機会がないと生かされない、忘れてしまうということだと思います。ま さにこの行田の地域社会の中で英語を使える、使う機会が必要だなと思っており ます。このことはネイティブの英語の先生、A L T からも同じ指摘を受けていま す。自分達が一生懸命教えても、社会の中で使う機会がないということは言われ てます。行田には素晴らしい観光資源があります。そして、これからはさらに外 国からもお客様が来られます。こうした外国人の観光客に対して、例えば子供達 が、埼玉古墳群や忍城址について英語で説明をする機会を設けることも一つ行田 ならできるのではないかと思っております。まさに英語ができるということはこ ういうことです。さらに地域社会で外国人も増えてます。本市の4月の転入超過 の大きな要因は留学生でした。こういった外国人と地域社会で触れ合うという機 会もこれからはさらに作っていくべきではないかとも思っております。</p>
6	<p><b>【トイレの洋式化の整備について】</b></p> <p>事業費が5,140万円ということだが、約 40機のトイレを単純に便器を交換するだ けではないとは思うが、1基あたりに單 純に計算すると130万以上かかる。予算 的な内容について説明いただきたい。</p>	商工観光課 (環境経済部長)	<p>今回整備するトイレにつきましては、それぞれ整備方法が違い、便器だけを交 換する場所とそれ以外の部分もあわせて整備する場所もありますので、その積み 上げの結果こういった金額となっております。費用がかかることから、何か有利 な方法がないかということで、今回は観光庁のインバウンドの受け入れに伴う整 備補助金がございましたので、この補助金を活用してなるべく市民負担が少ない 形での整備を行っていく予定でございます。</p>

No.	意見・要望等の要旨	所管課 (回答者)	回 答 の 要 旨
7	<p>【開発可能な土地について】</p> <p>雇用の創出、開発、企業誘致の推進の説明の中で、都市計画マスタープランを11年振りに見直した結果、開発できる土地が増えたということであった。見直すだけでこういうことができたのなら、なぜもっと早くやらなかったのか。行田には125号バイパスや17号バイパスがあるが、なぜお店ができないんだろうと常々思っていた。行田は優良農業地で青地だから開発はできないと聞いていたので、どういったことなのかご説明いただきたい。</p>	都市計画課 (都市整備部長)	<p>開発の要件として、おっしゃるとおり、青地はやはりハードルが高く厳しいと思います。こうした中で、いわゆる農業振興地域の農用地である白地の土地については、基本的には要件が整えば開発は可能です。都市計画マスタープランの位置づけがあることが最低限の要件になっており、従前の都市計画マスタープランについては約26ヘクタールしか土地利用の位置づけがありませんでした。白地で開発が位置づけされればできる土地はあったのですが、市の位置づけがないことによってできなかったということが現状でございます。そのままですと企業誘致が進まないため、9メートル以上の国道・県道・市道に接した白地について、全て都市計画マスタープランで位置づけをしました。そうすることによって、26ヘクタールから150ヘクタールの開発の可能性がある土地の創出に努めたということでございます。あとは、企業と住民の皆様、地権者の皆様とのニーズがマッチングするかどうかという問題がありますので、全て100%うまく進むとは言えないのですが、可能性は3倍も4倍も5倍も広がってきました。</p>

No.	意見・要望等の要旨	所管課 (回答者)	回 答 の 要 旨
8	<p>【道路の舗装について】</p> <p>最近の道路で補修したところがすごく痛んでいる。あちこち危険なところはすぐ直してくれるが、半年位でまたへこんでくる。行政指導として、すぐに補修しなくて済む舗装にできないかと常々思っている。幹線道路はそれなりに車が通っているので痛むのも早いが、脇道などでも痛んできている。行政指導を何かできないか。</p>	道路治水課 (都市整備部長)	<p>下水道や水道工事後の仮復旧の状態の舗装状態があまり良くないということをございますが、その1点目につきましては、適宜、連絡をいただいて、状況を見て対応できればと思っております。仮復旧の状況でおくのではなく、舗装をやり直すのが本来なのですが、順番をつけて実施しておりますので、なかなか進まない状況もございます。それは適宜、連絡をいただければ対応していきたいと思っております。</p> <p>もう1点の行政指導でもう少し劣化が進まない舗装を指導できないかとのことです、工事後の検査の中できちんと舗装ができるかなどを見ます。舗装が悪くなるということは、舗装の下の砂利が駄目になってるということですので、砂利の状態がきちんと締め固まってるのか、そういう検査はしているのですが、検査は部分的にやっていることもあります。なかなか100%網羅できないところがございます。皆さんの貴重な税金を投入して工事をやるわけですから、少しでも長持ちするように工事の進め方や検査体制を整えることについて、担当する職員と改めて考えていきたいと思っているところでございます。</p>

No.	意見・要望等の要旨	所管課 (回答者)	回 答 の 要 旨
9	<p><b>【がん検診について】</b></p> <p>行田市のがん検診の受検者数が、埼玉県内63市町村中、胃がん検診は53位、肺がん検診は61位、大腸がんが58位、子宮がん検診63位、乳がん検診61位、とほぼワーストに近いような検診率である。子宮がん検診については、受診できるところが行田中央病院しか選択肢がない。乳がん検診については行田総合病院と行田中央病院であり、検診場所の選択肢がない。これは医療事業の問題でもあって、行政ではなかなか難しいと思うが、例えば、市外の医療機関と助成金の制度の連携を行って市内でも受けやすくするとか、そういった試みをしてみてはどうかと思う。</p>	<p>健康課 (健康福祉部長)</p>	<p>ご指摘のとおり各がん検診の受診率はいずれも県内の下の方で、非常に問題という認識は私も共有しております。がん検診の受診率が高い自治体に取材をしてみると、対象者の方に個別にハガキでお知らせをしているという取り組みをしているところが多いということがわかっております。がん検診は市民で一定年齢の方であればどなたでも受けられるのですが、市の国民健康保険に入っている人が対象という誤解を持っていらっしゃる方が多く、その都度説明させていただいているのですが、なかなか周知が難しい状況です。対象の方に個別にはがきなどでお知らせをして、受診を促していくかと考えております。</p> <p>また女性のがん検診に関しては、女性医師に見ていただきたいですとか、出産からずっとお世話になっている産婦人科で診ていただきたい、そういうご要望があるのではないかと考えてきました。市内の医療機関も引退されるお医者さんも多くなかなか委託先が難しくなってきてますので、医療機関や市医師会など、他市も含めて交渉して、受診機会を広げていけるように頑張っていきたいと考えております。</p>

No.	意見・要望等の要旨	所管課 (回答者)	回答の要旨
10	<p>【企業誘致について】</p> <p>2014年から2024年の10年間、消滅可能性都市ということが続いていることはゆゆしき事態だと思う。この先人口の下降が5年10年で加速度的に大きくなる。女性と子供が集まる場所というのが人が集まる場所だと思う。それと、再開発、民間企業の誘致、これがキーワードではないかなと一般市民として思ってる。女性と子供が集まる場所というのは、先ほど公園という例えもあったが、大型商業施設や公共施設でもあると思う。行田市内で買い物を楽しむ場所がない。近隣の市町村と比較して観光資源が潤沢であるにもかかわらず、そこに集まった人たちが集う憩いの場所がない。古代蓮の里も埼玉古墳群も水城公園周辺も、そこに集まった人が集う憩いの場所、お茶する場所がない。企業誘致をもう少し考えてみたらどうか。</p>	企画政策課 企業誘致課 (市長)	<p>おっしゃってること本当によくわかります。私も同じ思いなのですが、いったん人口が減り始めるとどんどん加速化していく、行田はもう既にそのフェーズに入ってしまっているということです。本当に危機的な状況だと思っております。2010年と同じ指摘を受けたわけなので、この10年間何をやったのかということありますけれども、過去の10年間のことを言っても仕方ありません。これから仕切り直しで、消滅可能性自治体脱却に向けて皆さんと一緒に私も頑張っているところです。</p> <p>女性や子供が集う場所がある、それが魅力ある街であるということで同感です。大規模なお母さんもお父さんも一緒に行ける子供の遊び場、遊具のある場所というのは、行田は結構たくさんあります。例えばこの総合公園も遊具を新しくしました。そして、夏は猛暑が続いてますので、室内での遊び場というのも今トレンドとしてあります。こういったものも大規模なものがないということで、作っていけたらいいなと思っております。そして大型商業施設がありません。これは開発できるまとまった土地がないということと関係するのですが、皆さんのが集えるようなちょっとおしゃれなカフェとか、できれば商業施設もあればいいのですが、企業誘致ということから幅を広げて頑張って営業をかけていきたいと思っております。</p> <p>昨年の10月に都市整備部の中に企業誘致課という課を設置をしました。市役所で待っているだけではなくて、自ら外に出て営業をかけるという部署であります。少し幅を広げて様々な新しいものを呼び込んでいく努力をしていきたいと思っております。そして観光資源も豊富なのにも関わらず活かせていないこと、私も同感であります。古代蓮の里へたくさんのお客様が訪れてますけれども、特に市外からのお客さんにもっとお金を使わせたいと思っております。市外から来られる方はその楽しみとして、古代蓮を見る、タワーに上って田んぼアートを見る、それもありますけれど、やはりせっかく行田に来たのだったら行田の何かを買いたい、そして何か美味しいものを食べたい、お金を使いたいというはあると思います。その欲求を満たせていないというのが今の行田だと思いますので、ご指摘をしっかりと受け止めていきたいと思います。やることはたくさんありますけれども、皆さんと一緒に頑張っていきたいと思いますのでよろしくお願ひいたします。</p>

No.	意見・要望等の要旨	所管課 (回答者)	回 答 の 要 旨
11	<p>【公園の枝木の伐採について】</p> <p>中斎公園はちょうど50年位前にできたものだと思うが、早く大きくなり伸びる木がたくさん植えてある。50年も経つと鬱蒼として、夜になると公園内の防犯灯の光が届かない場所もたくさんある。また、高齢者がグラウンドゴルフをやっているが、上に出た木の根っこでつまずきそうなことが多い。市にお願いし、2年に1本ぐらいは大きな木を切ってくれているが、市に要望しても、予算の関係でそれ以上は切れないという説明である。木を1本切るといくらかかるかは大体把握しているが、定期的に大きな枝がある程度さっぱりしてもらえば、3年位はもつと思う。対応を早くしていただければ、公園としてもっと有意義に成り立っていくと思う。</p>	都市計画課 (都市整備部長)	<p>中斎公園は自治会の皆さん非常に維持管理を適正にやっていただいて、ありがとうございます。植えたときには小さくてよかったです、40年50年たって木が大きくなってきたということですが、中斎公園だけではなく他の公園でもこのようなご意見をいただいている状況でございます。昨年度ご要望いただいた中で、12月に補正予算を組み、追加で木を伐採した経緯もあります。ただ、まだ地元の皆さんのご希望に沿えてないところは現状としてあると思っております。ご意見いただいた中で、可能な限りご希望に添えるように今後もやっていきたいと思います。</p> <p>自治会長さんがおっしゃるとおり、公園の維持管理は今後の行政の課題の一つと捉えております。木が伸びたから切る、要望があったから切る、それも一つの対応なのですが、今後、市内全般に同じような状況が広がってますので、公園の維持管理のあり方について、市として、改めて検討していきたいと思います。今後も地元の皆さんに公園の維持管理にお世話になることが多いかと思いますが、引き続き、よろしくお願いしたいと思います。</p>